# 訓練 弟子たち 修行

## セッション 25:弟子訓練のダイナミクス(11a)

ロン・ライブリー M.Div., M.A. による提供 – BiblicalMentoring.org(研究)

**ステップ1**:開会の祈り

**ステップ2**: 各人がその記憶の節を引用します: ヴァース: **ルカ 4:3-4**
**3 悪魔は彼に言った。「もしあなたが神の子なら、この石をパンにするように命じなさい。」**
**4 イエスは彼に答えた。「書かれている。『人は生きてはならない』パンだけで』**

**ステップ3**: *聖書の章の全部または一部を読み、議論してください* - **ルカによる福音書4章**
**リンク:** https://www.biblegateway.com/passage/?search=Luke%204&version=ESV

***ステップ4:*** 個人的な応募やグループディスカッションに関する質問:

一. フィリップスは、弟子作りにおいて生産的になるためにすべての弟子が必要とされる七つのダイナミクス、すなわちエネルガイザーがあると述べています。

二. トレーナーは、これらのエナジャイザーの指導と実演に影響を与える責任を負います。

三. **礼拝**:私たちは自分の人生全体を神に礼拝として示さなければなりません。私たちは、毎日新しい神との関係を模範としなければなりません(新しいワインのための新しいワインの袋)。

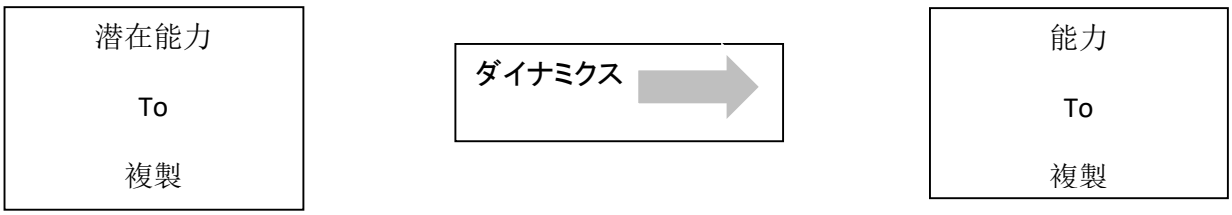
四. **ミニストリー**:私たちは互いに仕え合うべきです。真理の中で彼らを聖別してください。お互いのために祈り合いましょう。

五. **暗記**:週ごとの聖句を暗記してください。これは、訓練者と訓練生の両方に対する私たちの期待です。神の言葉と御心を心に抱き、守りなさい。「キリストの言葉があなたがたの内に豊かに住まいましょう」(コロサイ人への手紙3章16節)。

***ステップ5:*** *本書の内容を読み、議論してください:*
著者による第11章a(キース・フィリップス):

### *弟子訓練のダイナミクス*

*あなたの弟子が神を知りたいという熱意、その存在、服従、忠実さ、そしてビジョンは、弟子となる準備ができていることを示しています。あなたのキリストらしい性格と彼との関係は、彼を弟子として育てる資格を与えます。しかし、他のいくつかの要素がなければ、彼は決して繁殖力を持つことはできません。彼は燃料のないエンジンや風車のような存在になるでしょう――大きな可能性はあるが、静的で休眠状態にあります。*




*弟子の実を結ぶ意欲を、繁殖する能力へと変えるためには、彼の霊的環境には七つの要素が含まれなければなりません。一つでも欠けていると、弟子の訓練は不足しています。これらが弟子訓練のダイナミクス、すなわちエナジャイザ*

*一です。それらが弟子の自然な一部となると、神にふさわしい人格が生まれます。彼がそれらを十分に理解し、他者に伝えられるとき、彼は繁殖される準備ができています。あなたはこれらのダイナミクスを彼に伝える責任があります。弟子づくりは生涯を重ねる出会いですが、毎週定期的に集まる時間を決めなければなりません。会合の構成はあなたたちの性格に任せ、彼のニーズが内容を決めるのです。しかし、これらの会合だけで彼の成長が促進されるとは期待しないでください。実生活での経験や個人的な交流が依然として最重要です。*

*礼拝*

*あなたたちの関係の主な目的は、神を讃え、栄光を上げることです。礼拝とは、全能の神への愛、畏敬、敬意を表す崇拝の態度です。あなたの模範は、弟子が自分の人生のすべてを礼拝として神に示すことを促します。神は私たちが従うべき決まった礼拝の形を定めていません。イエスはこう教えました。「…新しいぶどう酒を古いぶどう皮に入れたりしない。そうでなければ、ぶどうが皮を破ってぶどう酒が失われ、皮も失われてしまう。しかし新しいぶどう酒を新しいぶどう皮に入れるのか」(マルコ2:22)。あなたの神との関係は毎日新しいものなので、あなたは自分の感情を反映した形で神への愛と崇拝を表現する自由があります。もし伝統的な方法に縛られれば、礼拝は陳腐化してしまいます。しかし、あなたが行うすべてのことにおいて神を讃え、栄光をあげようとするとき、あなたの心と頭は神に集中し、御霊は自発的かつ自由に礼拝する方法を教えてくれます。定期的に弟子と一緒に礼拝しましょう。聖書を読んだり、引用したり、歌ったりすることができます。他の信者と一緒に喜びをもって食事をすることもできます。祈ったり、瞑想したり、喜びを音楽的または詩的に表現したり、手を叩いたり、楽器を演奏したり、ただ謙虚な敬意を表して頭を垂れたりすることができます。ジョシュアとポールが生まれたとき、ケイティと私は子どもが一人だけの子どもを期待していました。息子たちのために口頭で神を讃えましたが、私の礼拝の最大の表現は笑顔だったのではないかと疑っています。その笑顔は何日も顔にしっかりと刻まれていたと聞いています。神が誰であり、神があなたにしてくださったことへの感謝のため、喜びは花の香りのようにあなたの人生からあふれ出るべきです。神は、あなたが神を心から礼拝することよりも、あなたが神を真に礼拝することにずっと関心を持っています。「神を讃えよ」と単に言うことに魔法はありません。もしあなたの霊や生活様式が言葉と調和していなければ、「神を讃えろ」という言葉は、主の御名をつだしないような空虚な言葉や冒涜に過ぎません。律法の文字通りに守りつつ、その霊を嘲笑うというパリサイ的な罠にはまってはいけません。あなたの礼拝が御霊によって導かれるとき、それは神への応答であり、神を栄光化し(コリント人への第一の手紙10章31節)、体を強め(コリント人への第一の手紙14章3節、12節)、あなたと弟子を築くものです(コリント人への第一の手紙10章23節)。*

***ミニストリー***

*互いに仕え合いなさい。聖書で互いを励まし合いなさい。勝利を喜びなさい。自分の重荷を分かち合い、罪を告白しなさい。そして、これらの問題について具体的に祈り、神の癒しと赦しを祈りなさい。互いのために祈ることは、あなた方の生活の常軌となるべきです。イエスは弟子たちのために父なる神に懇願しました。「私は彼らをこの世から連れ出してくださるのではなく、悪人から守るように願いません---真理において彼らを聖くしてください…」(ヨハネ17:15,17)パウロはテモテにこう言いました。「…私は昼も夜も祈りの中であなたを思い起こします」(テモテへの第二1章3節)。そしてエペソ人に「わたしのために祈ってください…」と懇願しました。(エペソ人への手紙6章19節)あなたたちの関係の活力は、互いのために祈り合う力にかかっています。互いの守り(コリント人への第二の手紙13章7節)と成長のために祈りなさい(コロサイ人への手紙1章9節、10節)。弟子を助言し、その必要を満たすよう努めるときには、神に導きを求めなさい。ヤコブは私たちにこう励ましています。「もし知恵に欠けている者がいれば、すべての人に惜しみなく与える神に祈りなさい。そうすれば、その知恵は必ず与えられる」(ヤコブ1:5)。この互いに仕える時間は極めて重要です。私たちの働きが若い頃、私はよく部下たちに働きかけについての質問を浴びせていました。他者に届き、傷つく世界の必要に応えたいという私の熱意は、弟子たちの霊的な幸福への配慮をかき消していました。私は彼らが私生活で勝利したとただ思い込んでいました。*

*残念ながら、もし彼らが対処されていない弱点や罪に苦しんでいたなら、私たちの共に過ごす時間は非生産的でした。「存在する」よりも「行動する」ことに陥るのは簡単です。弟子たちの人格やニーズは、今や彼らの奉仕よりも優先事項となっています。あなたたちが一緒に過ごす時間は、あなた方二人を築き上げ、教えるものであるべきです。*

*暗記*

*聖書の暗記はキリスト教において失われつつある技術になりつつあります。しかし聖書はしばしば信者に神の言葉を自分の内に秘めておくよう促しています(箴言7:1)。モーセは神の民が神の言葉を心に抱くよう主張しました(申命記6:6)。聖書の記憶は罪に対する最良の防御手段です(詩篇119:11)。イエスがサタンに誘惑されたとき、神の御霊はその言葉を記憶に呼び戻し、即座に持続的な力を与えました(ルカ4:4-12)。聖書の暗記は、キリストのような人格を形作るうえでかけがえのない味方です。それは賢明な助言と修正の基礎です。ある女性弟子は、幼少期に拒絶され嘲笑されたことから生じた不安と未熟さに苦しみました。彼女は心から神に自己嫌悪から解放してほしいと願いましたが、内なる平和と自己受容はまったく手の届かないものに思えました。その後、弟子は神の属性について彼女と一緒に聖書を暗記しました。週ごとに彼らはこれらの節を復習しました。数か月のうちに、神の言葉は彼女の中に新たな聖さ、成熟、そして安心感をもたらしました。聖書の暗記は、神の御心を弟子の心に刻み込むことになります(詩篇37:31)。それは礼拝と交わりを促進します(エペソ人への手紙5:19)。毎週1節か2節を一緒に暗記し、以前に学んだ他の節も復習しましょう。その週の間、毎日暗記した節を一節ずつお互いのために祈り合ってください。あなたと弟子はコロサイ人への手紙3章16節「キリストの言葉があなたがたの内に豊かに住まいなさい」を心に守らなければなりません。*

***ステップ6:*** *個人的な祈りの願いを共有し、それぞれが相手の願いのために祈ります。*

**出典**:キース・フィリップス博士著『The Making of a Disciple』。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。以下の内容(学習問題を除く)は本書からの抜粋であり、改訂は加えていない。

改訂20261123